

議会だより おかがき

No.79 3月定例会 平成22年5月10日発行

政務調査費は廃止へ ● 8・9

議員発議 賛成多数で可決

町政を問う ● 10～13

一般質問



定例会

3月

概要



子ども達への予算盛りだくさん（山田第2学童にて）

子ども手当始まる

政務調査費は廃止

西鉄バス一律150円

第1回定例会は、3月5日から26日までの22日間の日程で開催され、26議案、発議2件、請願2件について審議しました。

●主なものは、

- ①平成22年度岡垣町一般会計・国民健康保険事業特別会計・そのほか特別会計予算
- ②岡垣町一般職員の給与の一部改正条例
- ③岡垣町職員の退職手当の一部改正条例
- ④岡垣町暴力団排除条例の制定

月から支給開始

（中学生までの子ども1人につき13000円/月）

は廃止へ。削減額は2740万円。

調査費の削減額は、192万円。（6月定例会で減額補正）及び職員が在職時に懲戒免職等の処分を受ける行為を手当の全部または一部の支給制限や返納等ができる制度

除条例の施行に伴い、岡垣町暴力団排除条例を制定。

した法人等へ寄付をした場合、税額の控除が受けられる岡垣町6%、福岡県4%の合計10%を控除。



⑤平成21年度岡垣町一般会計
国民健康保険事業特別会計
そのほか特別会計補正予算
※採決の結果は4Pをご覧ください

平成21年度補正予算

補正額 1億11万円

■地域活性化・きめ細かな臨時交付金
(8360万円)の中から

- 小中学校修繕等施設整備事業 661万円
- 公民館施設整備事業 1340万円
- 総合グラウンド外周フェンス張替工事など 501万円
- 海老津駅前広場照明灯補修工事など 600万円
- 漁港トイレ整備事業 550万円

平成22年度当初予算

予算額 80億6000万円

- 子ども手当 5億4377万円
- コミュニティバス運行委託料 4550万円
- 国民健康保険事業特別会計繰出金 1億6133万円
- 公共下水道事業費負担金・補助及び交付金 4億4214万円
- JR海老津駅南側開発調査設計委託料 5400万円
- 消防車両(本部)購入費 2600万円
- 吉木・海老津線歩道設置工事 4000万円
- 新型インフルエンザ予防接種補助 1148万円

発議・請願書

- 子ども手当は6
- 職員の地域手当
- 岡垣町議会政務
- 退職した特別職した場合、退職に条例を改正。
- 福岡県暴力団排
- 条例により指定税条例へ改正。

発議

- ①核兵器廃絶へ日本政府が主導的役割を果たすことを求める意見書 全会一致で可決
- ②岡垣町議会政務調査費の交付に関する条例を廃止する条例 賛成多数で可決

請願

- ①郵政民営化の抜本見直しに関する請願書 総務常任委員会で継続審査
- ②永住外国人地方参政権付与についての意見書提出に関する請願書 総務常任委員会で継続審査



議案ほか決議について

議員の賛成○・反対●・退席退・欠席欠

採決日	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
3月5日 岡垣町立小、中学校パソコン教室等コンピュータ購入契約について	結 果	市津	木原	久保田	三角	下川路	石井	太田	矢島	西田	竹内	山田	平山	藤崎	大堂	横山
3月8日 平成21年度補正予算6件		広海	信次	秀昭	善彦	勲	要祐	強	恵子	陽子	和男	隆一	弘	光	圏治	貴子
3月26日 岡垣町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例他11件 平成22年度予算7件 発議2件																
岡垣町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町公営企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町特別職職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町都市公園条例の一部を改正する条例	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町暴力団排除条例の制定について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福岡県自治振興組合を組織する地方公共団体の数の増減について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福岡県市町村災害共済基金組合を組織する地方公共団体の数の増減について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福岡県介護保険広域連合規約の変更について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町老人保健事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度 岡垣町一般会計予算	賛成多数 可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○
平成22年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度 岡垣町老人保健事業特別会計予算	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数 可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
平成22年度 岡垣町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度 岡垣町水道事業会計予算	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度 岡垣町下水道事業会計予算	賛成多数 可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
岡垣町立小、中学校パソコン教室等コンピュータ購入契約について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町道路線の認定について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
核兵器廃絶へ日本政府が主導的役割を果たすことを求める意見書	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町議会政務調査費の交付に関する条例を廃止する条例	賛成多数 可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●

平成22年度 岡垣町下水道事業会計予算

反対の ポイント

財政調整基金を活用すべきだ

反
対

平山 弘 議員

病院に行きたくても行かないという受診抑制に見られるように、住民は命と健康を犠牲にせざるを得ない状況である。

失業率・求人倍率は過去最悪の状態にあることを町長はしっかりと認識すべきだ。

毎日の生活に欠かせない下水道使用料の値上げは、大きな影響を家計と生活に及ぼさざるを得ない。

問題点は、12月議会の条例改正の時に詳しく述べたので、割愛するが、下水道事業の財源は使用料と一般会計からの繰入金であり、いわゆるすべて住民の負担である。

増額された地方交付税や財政調整基金(19億円)を活用して値上げを見直すべきであった。

賛成の ポイント

後世に付けを廻すべきではない

賛
成

山田 隆一 議員

下水道事業は現在計画区域の9割が整備され、本年度で計画区域は終了する。平成3年の供用開始から町全世帯の92%恩恵を受けることとなる。現在下水道事業に税金から毎年4億7300万円を使っている。

又、累積赤字も2億2千万円に膨らんでいる。後世に付けを廻すべきではない。下水道料金は利用料である。このため本年4月から下水道料金の値上げがなされるわけであるが、下水道整備も23年度以降も見直す予定である。今年度も4地区で整備が予定されている。快適で文化的生活を営むには下水道は欠かせない。皆様の協力を得て本予算が可決され22年度の事業が進むことを期待し賛成するものである。

平成22年度 岡垣町一般会計予算

反対の ポイント

行財政構造改革の推進に疑問である 駅南開発の事業効果を疑問視する声がある

反対

平山 弘 議員

22年度予算には、コミュニティバス運行、緊急雇用創出、学校耐震化と改造計画など評価する事業が多々あるが、「岡垣町行財政構造改革」を進める町長の政治姿勢を指摘して反対する。

この構造改革は老人憩の家入浴料の設定、下水道料金の値上げ、重度心身障害者タクシー初乗り利用券、介護用品（紙おむつ）支給、在宅老人福祉事業、敬老祝い品の見直し・廃止を行い、お年寄りや低所得者、障害者など社会的弱者の負担を強いてきた。

駅南側開発の20億円の事業費や事業効果を疑問視する声があるので、住民への説明と意見をよく聞くことを求める。

西田 陽子 議員

自治体の多くは財政難に直面している。岡垣町も例外ではなく、まちづくりのキーワードは協働と情報公開。その情報公開制度に関する町の認識「常識的な範囲で行ってほしい職員は負担感を感じている。」に聞く耳を疑った。全国的な情報公開の流れに逆行するものだ。県町村会の汚職を調査すると、それを支える郡町長会の予算に慶弔費80万円が計上されていた。議決はされたが、私たちの知らぬところで、納得のいかない税金が使われている。駅南の調査費5400万円も、開発に係る財源根拠もない中、疑問だ。福祉の充実や35人学級等教育予算に充当すべきだ。





賛成の ポイント

住民ニーズを把握した予算を評価 児童や障がい者福祉の充実が図られている



下川路 勲 議員

厳しい財政事情の中でも、町長の願いとする、安心安全のまちづくりの理念のもと、防犯灯設置工事等に250万円、地域づくり交付金等452万円、交通安全施設工事等630万円、事務事業行政組織改編調査業務委託料等4522万円、重度障害者医療費等7550万円、知的障害者施設訓練支援事業8576万円ときめ細かな予算組みは評価する。しかし、海老津駅南側開発の調査、設計委託料に5400万円が計上されているが民家の立ちのき問題や変電所の移設にも多額の経費が必要とする。まずは地域の方々のご理解とご協力が重要なことを指摘して賛成討論とする。

竹内 和男 議員

本予算については、大きく分けて、4つの特徴がある。①交通アクセスの改善。西鉄バスの運賃が町内、150円で統一される。同時に、低床式のコミュニティバスを4月1日から運行すること。②岡中の耐震化及び大規模改造の実施設計に着手。平成23年度に工事着手、平成24年度に、吉木小学校の工事も着手される予定であり、住民の安心安全の向上が図れること。



③A型インフルエンザの、妊婦への予防接種が、無料化されること。④児童手当の拡充として、子ども手当が支給されるなど、児童や障がい者福祉などの住民福祉が増進することを高く評価し、賛成する。

大堂 圀治 議員

政権交代により、影響を大きく受ける岡垣町の今年度の行政運営は厳しいものと思われる。

変化に対応する機敏な感性と解決。改善する適切な手法と実行力がリーダーに強く求められている。

現代政治の役割は、人や自然への投資を拡大して、優しい社会づくりを目指す事が何よりも大切である。

障害者など生活弱者に暖かいまちづくりと発展を目指す、調和施策が重要である。

無駄を排除し、効率的な行政運営には協働のまちづくりや役場組織の強化が何より重要であるため、強化推進して欲しい。

私も議員の役割や責任を自覚し、宮内町政をしっかり監視し、住民負担に伝えていく。

太田 強 議員



宮内町長のまちづくりに対する姿勢は、マニフェストである「町長の五つの約束」を実現するために2つの柱が立てられています。1つは「安全・安心と発展性あるまちづくり」また1つは「住民・地域そして町全体が元気になるまちづくり」です。これに向けて中長期的視点に立った施策が十分に盛り込まれていると評価する。中でも第五次総合計画策定に向けてのワークショップの立上げでは、住民とともに若手職員が参画することは将来のまちづくりに新たな一ページが開かれると期待する。また、JR海老津駅南側開発事業の海老津・白谷線の実施計画など具体化への予算計上は将来の岡垣町の発展につながると考える。

岡垣町議会 政務調査費の交付に関する条例を 廃止する条例

反対の ポイント

**まず廃止すべきは費用弁償だ
議員の調査・研究には政務調査費が
必要だ**

反対

大堂 園治 議員

6年前に制定された、政務調査費交付条例は議員が日常生活において変動する政策課題や住民ニーズに対応するために、調査、研究活動を充実して議員資質を高める目的で出来たものである。

岡垣町の場合は、月額1万円でその使途も明確であり、1円から領収書も添付して報告している。

議員に支給されている費用弁償(1日2000円)は報酬の二重取りという、住民の批判もあり、総額が政務調査費とほぼ同額であるので、先ずこの分を廃止すべきである。

日常より調査、研究活動に研鑽し、住民の負託にしっかりと応えていくことが議会の活性化につながるものと信じる。

西田 陽子 議員

議会の改革と活性化のために調査費を廃止するとは矛盾している。混迷する社会状況の中、私たち議員は今以上の調査、研鑽が求められている。

全国で問題になっているのは領収書がなかったり、その使途が不明瞭であることだ。岡垣は年間12万円の使途も厳格であり、すべて領収書も添付している。経費削減というなら「費用弁償」を廃止すべきだ。報酬の二重取りとの批判が高い。今回残念なのはこの件についての議会内での議論が十分になされていないまま、上程されたことだ。言論の府である議会にないまじい。



男女共同参画について受講中



議会制度について学ぶ



賛成の ポイント

住民の負担が増す中、議員も努力を

賛成

竹内 和男 議員

議会は、厳しい世論の中に身を置いていることを自覚しなければいけない。職員の給与の減額。住民に4月から下水道料金の負担を求め中、議会として誠意を示すべきでないか。江戸時代の儒学者・佐藤一斎の言葉を紹介して賛成討論とした。

自ら責むること厳なる者は、人を責むることも亦厳なり。人を恕すること寛なる者は、自ら恕することも亦寛なり。皆一偏たるを免れず。君子は則ち躬自ら厚うして、薄く人を責む。政務調査費を廃止することで、少なくとも、住民の皆様と苦勞を分かち合うことになる。

三角 善彦 議員



反対者の一人は、執行部の予算の使い方について、批判をしているが、当時本人も賛成した予算を批判するのは、議会制民主主義を、岡垣町議会を否定することになる。

岡垣町をよりよい町へとの考えは、執行部も我々議会も同じはずである。役場の職員は給与の減額が続き、一方、住民の皆さんは、下水道料金の値上げなど負担が増している。こうした現状で、議会の改革と活性化のために、政務調査費は存続すべきとの考え方は、住民の皆さんの理解は得られるはずがない。

石井 要祐 議員



歴史ある行政と、諸先輩が築かれてきた町議会が互いの力を注いで住民の住みやすいまちづくりを目指している中、昨年誕生した町長、副町長に教育長を加えた行政トップが、未だかつて例がない報酬、退職金を削減するという自らの身を削ってまでも厳しい町財政に寄与したいとの姿勢を示している。

加えて、役場職員の給料減が実施されている。町議会としても自らの努力によつて議会運営費の中の政務調査費を廃止し、報酬を使って調査活動すべきと考え賛成討論とする。



西日本新聞本社にて研修中



宮代町にて熱心に視察中

町政を問う

一般質問



大堂

障害者の就労支援の拡大を

町長

雇用機会の創出に努力する



大堂 園治 議員

大堂 障害者の生活実態をどのように認識しているか。

町長 大変厳しい生活環境の中で、一生懸命に頑張っておられると思います。

大堂 障害者の基本計画、福祉計画に沿って、どのように実行していくかが重要であると思うが。

町長 計画に沿って、障害者の実態を正しく理解しながら進めていきたい。

大堂 発達障害児が増加している中で、行政施策が充分に対応しきれいなと思うが。

教育長 全児童の約3%位が対象になると思うので、拡充に向けて努力したい。

大堂 具体的な拡充の施策が

あれば。

教育長 22年度から、海老津小学校と岡垣中学校に「特別支援学級」を開設し、要員確保や予算処置を執っていきたい。

大堂 障害者が自立していくためには、就労支援が重要であり、町としての具体策は。

町長 そのように考えており、町として支援につながる業務を掘り起こして、新年度から委託の追加を予定している。

大堂 国の施策に沿って、新しい就労支援策を実施すべきと考えるが。

町長 緊急雇用対策事業を活用し、就労機会の創出や中心市街地においての、コミュニティビジネスへの発展につながるよう協力支援したい。

大堂 重度障害者は医療費や介護費などが増大し、苦しい生活であり医療サービスの拡大を強く求めているが。

町長 医療費が増大する中で、現在の制度を守るため所得制限をなくすことは、今の時点では、困難であると考えている。



就労支援が期待される



下川路 中心市街地活性化の懇談会の進捗状況は

町長 懇談会を6回開催している



下川路 勲 議員

下川路 中心市街地活性化懇談会について平成21年3月議会で中心市街地活性化を見直すとの答弁を受けて懇談会が開催されたと思うが進捗状況は。

町長 懇談会を6回開いて内容を報告書にまとめた段階である。

下川路 行政が主導的な立場でとりまとめをすべきであり意見を受けての町の考え方を示す時期と思うが。

町長 地元関係者で協議会を設立し案を出してもらおう。町は取り組みを支援したいと考えている。

下川路 その中で郵便局利用についてはいろんな問題もある。

る。町として移転する考えはないか。

町長 町は郵便局の移転に関して指導的な立場にない。郵便局のあり方も含めて地域一帯としてとらえ、利害関係者、商工会、郵便局、地元で話して計画を立てることが出来れば郵政局にお願いすることがあるかもしれない。

下川路 懇談会でのまとめを



論議に熱中

受けて、第5次総合計画に間に合うように早急に行政が主体的に取り組まないとい、地元の方は不慣れな方が多い中間にあわないのではないかと？

町長 事例をみても行政主導

竹内 廃止路線の代替は

町長 コミュニティバスで代行する



竹内 和男 議員

竹内 西鉄バスの一部廃止路線の代替として、どのように住民の足を確保しようとしているのか。

町長 海老津駅から遠賀川駅間の1日8往復の廃止については、コミュニティバスの高陽団地循環線を「千代丸口」まで延伸し、一部の便では、遠賀町のコミュニティバスと接続するようにした。雨堤から「海老津台入口」間

より地元の熱意で成功している。地元関係者で協議会を設立し合意形成の上、案をまとめ町は取り組みを支援することが先決である。

下川路 いずれにしても結果

においては、役場前を経由し波津方面と海老津駅方面を結ぶ1日15往復のうち5往復程度を縮小した上でサンリーアイ方面を経由するように振り替える予定であったが、朝夕の通勤通学時間帯について、町が西鉄バス宗像に一部補てんをすることで、3往復程度を存続できることになった。

竹内 計画路線網に対する、費用便益分析を、具体的に分かりやすく町民に示すべきではないか

町長 利用者アンケートや住民モニター制度を導入し、利用者の意見を把握するとともに西鉄バス運賃を一律150円に

報告が出ているのではないのか。
町長 懇談会は協議会につなげるステップでありその結果報告のみに基づいて計画を立てていくことにはならない。



23年度工事予定(岡垣中学校)

設定し便益性を向上させ、24年度からは、コミュニティバスも含めて運賃を150円に平準化し、運行収支の改善を図る。

※この他、各学校の耐震診断について質問しました

市津 は 情報プラザ「人の駅」の今後の展開

町長 管理運営の見直しを、検討している



市津 広海 議員

市津 町の活性化について町の観光開発についてです。情報発信基地、情報プラザ「人の駅」情報発信の現状及び効果は。

町長 観光情報については、ホームページ・インターネット放送局等で発信しているが、観光情報に関する町への問い合わせ件数に変動はない。

市津 情報センター「人の駅」の今後の展開について。

町長 管理運営の見直しを、検討している。

市津 次に国道3号線の岡垣パーキングでの、観光発信の基地がある、看板等の更新、また有効活用が行われてない、今後の対応について。

町長 国道3号線と国道495線の接続道路計画が、実施されるようになれば、検討する。

市津 次に中西部の観光開発についてですが、内浦地区の家族旅行村計画で、実施された芝生公園がある、現在あまり利用されていない。管理で経費がかかっている、今後の対応は。

町長 事務事業を見直す中で検討を行う。

市津 西部地域は貸し自転車



どう変わる人の駅

車、イルミネーション、パラグライダー等各団体があるが、観光活性化の為、連携が行われていない。

町長 漁業組合を含むボランティア等各種団体と連携を図り、観光活性化を推進する。

市津 波津海水浴場休憩所

平山

町長

小学校6年までの医療費を無料にする。今後の動向を見て検討する



平山 弘 議員

平山 岡垣町では就学前までの医療費無料制度が実施されているが、貧困と格差の拡大の中、子どもの貧困が社会問題になっている。

小学校6年生まで、医療費を無料にする考えはないか。

町長 この制度は市町村が実施主体となっているので、自治体により格差が生まれている

は、現在貸し自転車の基地でもあり、老朽化しているが建て替えは。

町長 休憩所について、年間を通しての有効利用が出来るように、また、観光発信の拠点施設として県の補助等を利用した立て替えの検討を行う。

が、地域差を設けるべきでなく、医療制度は国が責任をもつて行うべきと考えている。

当町は県下の中でも水準以上にあるから、今後国や県、他自治体の動向も見据えて検討していきたい。

平山 子育てしていく上で、医療費の問題での親の心配をどう認識しているか。

町長 3割負担という中で家計に占める割合は相当になり、生計を圧迫すると思っっている。

平山 全国1800自治体の中で、小学校3年生まで無料になっているところは131、小

学校6年生までが198、中学3年までが349ある。



ハイ!お口「ア〜ン」して

県下でも水巻町が小学3年生まで実施し、福岡市が今年4月から、小学3年生までの無料化を予定している。

みやこ町は小学6年生まで、苅田町は中学3年生まで実施している。

岡垣町で小学6年生まで無料にするとしたら、費用はどのくらいになるか。

町長 小学6年生まで実施したら5622万円になる。

平山 実施しようと思えばできない予算ではない。

日本医師会も子どもの医療費は無料にと提言している。

町長 本来国の責任であるが、今後の動向を見て検討する。

西田

公費の視察研修は、情報公開を

町長 議会に予算の承認をうけ、研修を実施している



西田 陽子 議員

西田 公費を使う視察研修を公開し、住民の理解を得られるもの。

町長 議会に報告する義務はない。中身のある研修を行っている。

西田 平成21年10月20、21日の副町長以下8人の視察内容は。

町長 厚木、市川市で情報センターの管理運営手法や指定管理を行った場合の問題点などについて研修した。

西田 旅費、日当、8人も欠ける危機管理や事後報告会での情報共有はどうされたか。

町長 8人分で56万1千円、町長である私が役場に居た。視察研修後、各自が研修報告書を作成し、私が報告を受けた。

西田 職場で情報の共有をすることが、公費を使つての研修のあり方だ。10月26日の25人（町長、職員、議員、期成会の久留米高校視察内容は。

町長 駅南開発に関する視察だ。カワセミ号で行つたため、職員には旅費の支給はない。議員には費用弁償が支給されたと聞いている。

西田 久留米は合併特例債を使っている。問題なのは、補助金団体の期成会が25人分の昼食代を支出していることだ。

町長 視察後に請求することのことであつたため、後で請求があり支払つた。

西田 補助金を飲食に使つていいのか。

町長 まちづくりのために交付しており、団体意思に基づき支出されるものである。適正に使われていれば中身について言うことはない。

住民懇談会の実施について

議会改革の一環として、また住民とともに歩み、民主的なまちづくりを目指す議会として、本年度も住民懇談会を実施します。

事前の申込みは不要です。時間はいずれも午後6時から2時間程度です。皆様のご参加をお待ちしています。

委員会	月日(曜日)	内容	場所
総務常任委員会	5月20日(木)	総務費(第5次総合計画) 民生費(子育て支援) 労働費(緊急雇用対策) 農林水産業費	中央公民館
文教厚生常任委員会	5月21日(金)	民生費(介護予防・各種健診・敬老事業) 教育費(小中学校整備)	西部公民館
経済建設常任委員会	5月24日(月)	衛生費・労働費・農林水産業費・商工費・土木費	東部公民館



新 しい コ ミ バ ス



4月1日から青色のジャンボタクシーに加えて赤色と緑色の低床型バスが登場しました。

色は路線ごとに設定されています。

青→高陽団地循環線、上畑・上高倉循環線

緑→糠塚・元松原循環線

赤→戸切循環線



ヤツガシラ

三吉区で3月下旬に撮影されました。ヨーロッパ南部・中部、アフリカ、南アジアから、東南アジア、中国、沿海州にかけて分布しています。日本には、不定期に旅鳥もしくは冬鳥として渡来するそうです。九州北部ではあまり見かける事がないうずらしい野鳥です。



どうぞ 傍聴席へ

次の定例会は

6月4日(金)
開会の予定

編集後記

竹内 和男

「少年老いやすく、学成り難し」。団塊の世代の私には、耳の痛い言葉だ。その上、41歳になる頃、議会に出させていただき、はや19年。60歳を超えてすでに老境かと自問。

そこで思い出したのが、江戸時代の儒学者・佐藤一斎の「言志四録」に、「少くして学べば、壮にして為すにあり。壮にして学べば、老いて衰えず。老いて学べば、死して朽ちず」と。これは、「今」を生きるための哲学である。

政策を極めるのは難しい。政策を創ることはさらに難しい。しかし、住民の皆様への「観点変更」があれば、閉塞した社会も、議会や行政のアイデア次第で、打開できる。

発行責任者

議長 曾宮良壽

議会広報特別委員会

- 委員長 横山貴子
- 副委員長 三角善彦
- 委員 市津広海
- 委員 下川路
- 委員 竹内和男
- 委員 山田隆一